

「いちご」で就農する場合の自己資金額別の就農形態

令和6(2024)年2月 経営技術課

「いちご」で就農する場合のモデルとなる資金計画の考え方（いちご20a, 所得目標500万円, 家族構成3人(夫婦+子)の場合)

研修（1年間）

就農開始後（1年目）

就農開始後（2年目）

【就農準備に必要な資金額】

【生活費】 250万円※（自己資金+就農準備資金） + 250万円※（自己資金+経営開始資金） + 250万円※（自己資金+経営開始資金） = 750万円（自己資金と補助金で3年分の生活費を確保）

【設備投資費】 3,247万円（自己資金+融資等） 3,247万円（自己資金と融資等で確保）

【留意すること】 無収入期間 収穫まで無収入 低収量等による低収入のリスク

※：生活保護制度の最低生活費（厚生労働省）を用いた生活費の試算です。実際の生活費は個別の状況で判断が必要です。

就農希望者の用意資金	研修期間（1年間）	就農開始後（2年間）		推奨する就農の形態
	生活費	生活費	設備投資費（ハウス・機械等）	
無し	× <ul style="list-style-type: none"> 就農準備資金150万円を受給しても不足 雇用就農を要検討 	/		雇用就農 直ちに独立自営就農は困難のため雇用就農を推奨します。雇用就農により技術の習得と独立自営就農のための資金を準備することもできます。
300万円	○ <ul style="list-style-type: none"> 就農準備資金150万円と自己資金で確保可 	○ <ul style="list-style-type: none"> 経営開始資金150万円を2年間受給と自己資金で確保可 	△ <ul style="list-style-type: none"> 概ね全額を融資等に依存 低収量等の経営リスクへの対策が脆弱 規模拡大による所得向上は遅延 	独立自営就農 or 雇用就農 独立自営就農が可能なギリギリの資金状況です。雇用就農で技術の習得と独立自営就農のための資金を準備することも検討しましょう。
600万円	○ <ul style="list-style-type: none"> 就農準備資金150万円と自己資金で確保可 	○ <ul style="list-style-type: none"> 経営開始資金150万円を2年間受給と自己資金で確保可 	○ <ul style="list-style-type: none"> 融資の依存度が比較的低く、規模拡大による所得向上が早期に実現可能 	独立自営就農 上記のモデルとなる資金計画に沿った独立自営就農を円滑に実現することができます。